

YAMAU REPORT 2012

第55期 事業報告書

平成23年4月1日 ▶ 平成24年3月31日



明日の快適環境を
目指して



株式会社



証券コード：5284



ヤマウフィロソフィー

わが社は、事業活動を通じて社会に貢献することを使命とし、顧客の満足度を高め、会社の発展と社員の幸福を実現する。



代表取締役社長

中村 健一郎

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社第55期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

■営業のご報告

当連結会計年度におけるわが国の経済は、平成23年3月11日の東日本大震災における甚大な被害と、その後の電力供給の制約などによる企業の生産活動への影響により当初は厳しい状況で推移しましたが、震災復旧へ向けてのサプライチェーンの建て直しなどを背景にゆるやかなながらも回復基調にありました。しかしながら、欧州の債務問題に端を発した海外景気減速や歴史的な円高基調の長期化等は当面の日本経済になお影を落としており、いまだ先行きは不透明であります。

当社の主要事業分野であるコンクリート製品製造・販売業界におきましては、東日本大震災の発生による予算執行の遅れや全国の地方自治体に対する交付金の5%留保、更には年々縮減されていく公共事業費等の影響による同業他社との競争激化など、厳しい市場環境で推移いたしました。

このような経営環境下で当社は、競合他社との差別化を図るべく、プレキャスト化の推進による新たな需要の創造など提案力の強化によりシェア拡大を図るとともに、製造部門をはじめとする全社的なコスト削減

強化に取り組んで参りました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高が131億91百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益が2億13百万円（前年同期比42.6%減）、当期純利益が1億33百万円（前年同期比48.5%減）となりました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、東日本大震災の復興需要等を背景に、建設業界は停滞局面を脱却することが期待されますが、当社グループの主要市場である九州圏内の公共事業については更なる縮減が予想されるなど、引き続き厳しい状況で推移するものと認識しております。

このような状況にあって当社グループは、引き続き受注強化、生産性・採算性の向上による競争力の強化に取り組んで参ります。また、新商品・新技術・新工法の開発による新たな需要の創造にも積極的に取り組み、利益確保に邁進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、何卒絶大なお支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■連結財務ハイライト

区 分	平成20年度 第52期	平成21年度 第53期	平成22年度 第54期	平成23年度 第55期
売 上 高 (千円)	13,328,329	14,859,738	13,541,843	13,191,739
経 常 利 益 (△損失) (千円)	△ 133,982	721,931	386,602	194,652
当 期 純 利 益 (△純損失) (千円)	△ 254,602	286,385	258,586	133,097
1株当たり当期純利益 (△純損失)	△ 56円51銭	60円86銭	54円82銭	26円97銭
総 資 産 (千円)	9,949,907	10,545,258	9,931,326	10,177,046
純 資 産 (千円)	1,380,306	1,683,128	1,935,939	2,050,748
1株当たり純資産	169円09銭	230円89銭	285円90銭	312円58銭



■セグメント別営業のご報告

●コンクリート製品製造・販売事業

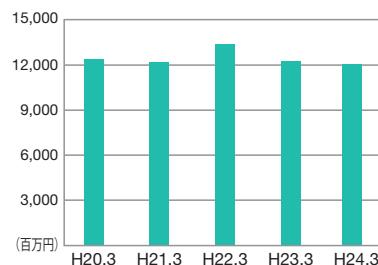
コンクリート製品製造・販売事業の売上は、土木製品・景観製品・レジンコンクリート製品の販売によるものであります。

当連結会計年度においては、建設投資の縮減傾向が続く状況下で、依然として当社を取り巻く環境は厳しい状況で推移しております。このような状況の中、主力の土木製品群を中心に、受注強化に継続的に取り組んで参りました。

その結果、当連結会計年度においては、コンクリート製品製造・販売事業の売上高は125億76百万円、セグメント利益（営業利益）は1億86百万円となりました。

土木製品

道路、港湾、河川、上下水道、宅地開発、防災など、私たちの周りではさまざまな目的で開発事業が進められておりますが、今日の開発事業は環境への配慮を抜きには考えられなくなって参りました。土木部門では、「開発の基本は自然との共存である」という考えからさらに一歩進んで、「自然の姿を破壊せずに融合を図り、より自然に近い環境を創出する」ことを念頭においたコンセプトをもとに、国土を守り、環境を保全し、人々の快適な暮らしを支える製品を数多く生み出しています。



アクアポンドS型（プレキャスト雨水貯留槽）



ケスタI型（環境保全覆土ブロック）



PGF（プレキャストコンクリート剛性防護柵）

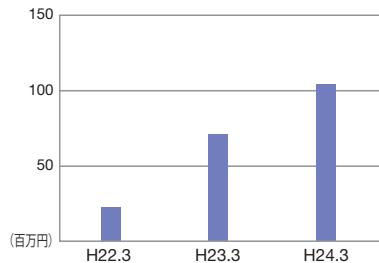


テクスパン（プレキャスト・アーチカルバート工法）

建築製品

後付エレベーター昇降路「Fine uni(ファインユニ)」は、既存建物に負担をかけない完全自立型で、設置期間が5日程度と非常に短工期であることから、従来工法に比べ大幅に工期を短縮することができます。

既存建物の物理的バリアを解消し、社会的ニーズに的確にお応えする「Fine uni」は、入居者の高齢化が進む共同住宅や、車椅子対応を進める教育施設への今後の需要が見込まれています。



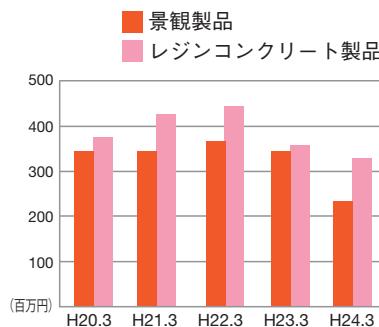
ファインユニ (後付エレベーターシャフト)

景観製品 レジンコンクリート製品

多彩な表情を持つヤマウの景観製品は自然環境に広がりとお興きを与え、開放感やスケール感を損なうことなく美しい景観を演出します。

また、レジンコンクリートは、耐摩耗性、耐薬品性、耐水性などに優れ、美観とともに強度や耐久性の両面が必要とされる環境条件に最適な材料です。

美しい都市環境を創造し、都市機能を担う製品を提供する。そんな思いから生まれた、景観に調和し、利用環境にも幅広く対応できるヤマウの製品が、様々な場所で利用されています。



車止め



カーストップ、係船柱



製品分類（コンクリート製品製造・販売事業）

土木製品

河川製品類	ケスタ、グリーンロック、ネクストーン、ポラボックス、げんじくん、かご舂、のり舂、がんちゃん、のぼるくん、とおりゃん瀬、CCブロック、eベース、テトラックPG、cv絆
擁壁類	パワーロック、PAN WALL工法、多数アンカー、井桁ブロック
L型擁壁類	NNC、ハイタッチウォール、スーパークリフ、ガードクリフ、ノーマルクリフ、サンクウォール
カルバート類	ボックスカルバート、FAボックス、大型斜角カルバート、アーチカルバート、スパンザウォール、ボックスガレージ、可とうボックス、Pcaウイングウォール
管渠・暗渠類	ライン側溝、サイドライン側溝、側溝カルバート、NJ境界集水溝、重圧管、横断暗渠
側溝類	ピット側溝、リボーン側溝、SF側溝、YCL側溝、トライポット用側溝、シントー側溝

景観製品

舗装材	洗い出し及び擬石による平板・縁石・階段・皿型、歩車道ブロック、植込舂、植樹舂 他
ストリートファニチャー	車止め、外柵、ベンチ、水飲み、プランター、ポール、パーゴラ、モニュメント、LED照明 他

道路製品類	そうげん、プレガードII、PGF、SGF（仮設用防護柵）
水路類	YT水路、三面水路、軽量三面水路
残存型枠・シートライニング	ダクトアルフォーム、ダクトアルライニングパネル、ゆうパネル
機能性コンクリート	ダクトアル、ゼオガード（抗菌コンクリート）、ハレーサルト
ダム関連製品	監査廊、エレベーターシャフト、高欄
貯留システム及びシントー製品	アクアボンドS型、防火水槽、耐震性貯水槽、浸透側溝、浸透柵

レジンコンクリート製品

YRG集水蓋（U型用蓋・側溝蓋）、カーストップ、メンテナンス床板（UPC階段）、fitサークル、フリーボーイ、誘導ブロック、係船柱、レジン多孔管、分岐部側板、レジンパネル 他

建築製品

ファインユニ（後付エレベーターシャフト）

●情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業

情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業の売上は、主に金融機関向け業務処理支援機器、貨幣処理機及びその周辺機器の販売並びにそれらの保守、LED照明の販売によるものであります。

当連結会計年度においては、情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業の売上高は4億15百万円、セグメント利益（営業利益）は17百万円となりました。

●コンクリート構造物の点検・調査事業

コンクリート構造物の点検・調査事業の売上は、橋梁、トンネル等コンクリート構造物の点検・調査業務の請負、補修・補強設計業務の請負によるものであります。

当連結会計年度においては、コンクリート構造物の点検・調査事業の売上高は2億円、セグメント利益（営業利益）は9百万円となりました。

Pca ウイング ウォール (プレキャスト製品)

最近では、建設廃棄物の抑制など環境問題に関する意識の高まりとともに、コスト縮減や熟練工不足による省人化問題が叫ばれています。

現場打ちのプレキャスト製品化は、コンクリート部材として工場で生産し現場に運び、構造物として組立てるため、従来の現場打ちで行っていた煩雑な配筋作業、型枠の組み立てや撤去作業が軽減され、省資源・省力化に貢献します。

ヤマウは、これらの諸問題の解決に向けて「現場打ちのプレキャスト製品化」を積極的に取り組んでいます。

▶ 工費の縮減

工場生産品のため、鉄筋工および型枠工等の熟練工の作業員数が大幅に低減できます。

▶ 工期の短縮

煩雑な配筋作業、型枠の組み立てや撤去作業が軽減され、短時間での施工が可能となります。

▶ 安全性の向上 危険作業の減少

従来の現場打ちに比べ、足場での高所作業が軽減され、安全、安心に施工できます。

▶ 建設資材・ 廃材の抑制

施工現場での建設資材や廃材が軽減され、環境に優しいエコ工法です。

▶ 高品質 安定供給

工場生産品により、高品質で均一な製品を安定供給できます。





■連結財務諸表（要旨）

●連結貸借対照表（平成24年3月31日現在） （単位：千円）

科 目	金 額
資 産 の 部	
流 動 資 産	7,091,341
固 定 資 産	3,085,704
有形固定資産	2,675,258
無形固定資産	96,220
投資その他の資産	314,226
資 産 合 計	10,177,046
負 債 の 部	
流 動 負 債	6,965,432
固 定 負 債	1,160,864
負 債 合 計	8,126,297
純 資 産 の 部	
株 主 資 本	2,002,291
資本金	800,000
資本剰余金	300,000
利益剰余金	914,100
自己株式	△ 11,809
その他の包括利益累計額	16,957
その他有価証券評価差額金	16,957
少数株主持分	31,500
純 資 産 合 計	2,050,748
負 債 純 資 産 合 計	10,177,046

●連結損益計算書（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで） （単位：千円）

科 目	金 額
売上高	13,191,739
売上原価	9,937,917
売上総利益	3,253,822
販売費及び一般管理費	3,040,433
営業利益	213,389
営業外収益	79,621
営業外費用	98,358
経常利益	194,652
特別利益	5,409
特別損失	20,016
税金等調整前当期純利益	180,045
法人税、住民税及び事業税	34,306
法人税等調整額	8,439
少数株主利益	4,202
当期純利益	133,097

●連結キャッシュ・フロー計算書（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで） （単位：千円）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	582,705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 344,586
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 203,923
現金及び現金同等物の増減額 （△は減少）	34,194
現金及び現金同等物の期首残高	1,107,550
現金及び現金同等物の期末残高	1,141,745

●連結株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主 持 分	純資産 合 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	800,000	300,000	801,709	△ 11,809	1,889,900	9,232	9,232	36,807	1,935,939
当期変動額									
剰余金の配当			△ 20,706		△ 20,706				△ 20,706
当期純利益			133,097		133,097				133,097
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						7,725	7,725	△ 5,307	2,418
当期変動額合計	—	—	112,390	—	112,390	7,725	7,725	△ 5,307	114,808
当期末残高	800,000	300,000	914,100	△ 11,809	2,002,291	16,957	16,957	31,500	2,050,748

■財務諸表 (要旨)

●貸借対照表 (平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
資 産 の 部	
流 動 資 産	5,633,926
固 定 資 産	3,017,477
有形固定資産	2,513,979
無形固定資産	81,761
投資その他の資産	421,736
資 産 合 計	8,651,404
負 債 の 部	
流 動 負 債	5,646,418
固 定 負 債	1,053,998
負 債 合 計	6,700,417
純 資 産 の 部	
株 主 資 本	1,933,676
評価・換算差額等	17,310
純 資 産 合 計	1,950,986
負 債 純 資 産 合 計	8,651,404

●損益計算書 (平成23年4月 1日から
平成24年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	11,064,315
売上原価	8,436,334
売上総利益	2,627,981
販売費及び一般管理費	2,475,620
営業利益	152,360
営業外収益	82,612
営業外費用	82,755
経常利益	152,217
特別損失	16,659
税引前当期純利益	135,558
法人税等合計	12,042
当期純利益	123,517



■会社情報 (平成24年6月28日)

●会社概要

商号 株式会社ヤマウ
 本社 福岡市早良区東入部五丁目15番7号
 創業 昭和28年10月
 設立 昭和33年2月
 資本金 8億円
 代表者 代表取締役社長 中村 健一郎
 従業員 236名 (平成24年3月31日現在)

●会社役員

代表取締役会長	権 藤 勇 夫
代表取締役社長	中 村 健 一 郎
常務取締役	伊 佐 寿 起
常務取締役	小 嶺 啓 藏
常勤監査役	平 野 貞 義
監査役	長 野 紘 一
監査役	右 田 國 博

●事業所

営業所 福岡中央、福岡東、久留米、北九州、熊本、佐賀、唐津、長崎、大分、大分北、宮崎、延岡、日南、高鍋、都城、鹿児島、川内、鹿屋、霧島
 関東事業部

工場 福岡、北九州、佐賀、大分、川南、高崎、鹿児島

●主な子会社

(有)ヤマウ・アサヒ	鉄筋加工事業
(株)ヤマウトラスト	製造業務請負事業
九 ン 販 売 (株)	コンクリート製品仕入販売事業
メ ッ ク (株)	コンクリート構造物の点検・調査業務、補修・補強設計業務、補修工事業務、補修・補強材料販売業務
クリエイティブ・モールド(株)	コンクリート製品用型枠の製造・販売並びに改造・修理
光洋システム機器(株)	情報機器の開発・販売及び保守並びに環境関連商品の販売
大 分 フ ジ (株)	コンクリート製品製造・販売
宮 崎 プ レ コ ン (株)	コンクリート製品製造・販売
開 成 工 業 (株)	水門・堰の製造、施工及び保守



▲大分工場



▲鹿児島工場

■株式情報

●株式の状況 (平成24年3月31日)

会社が発行する株式の総数	22,024,000株
発行済株式の総数	7,506,000株
株主の総数	619名

※第1回優先株式を含みます。

●普通株式所有者別状況 (平成24年3月31日)

金融機関	12名 1,393千株	25.3%
その他の法人	57名 814千株	14.8%
個人・その他	549名 3,299千株	59.9%

■株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 掲 載 方 法	日本経済新聞

〈ご注意〉

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ヤマウ|

検索



株式会社



福岡市早良区東入部五丁目15番7号

<http://www.yamau.co.jp/>